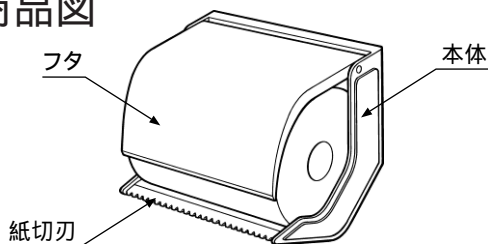


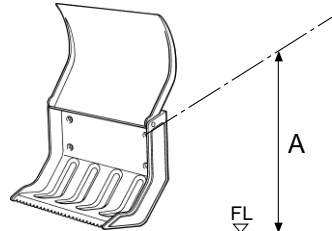
ワンハンドカット式紙巻器 CF-31

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

商品図



取付参考例

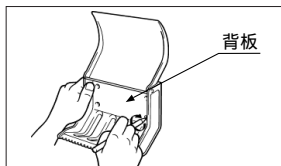


上のネジ穴の床からの高さ

- 洋風便器の場合
A=750~850mm
- 和風便器の場合
A=500~550mm

施工方法

「取付参考例」の説明に従って取付位置を決め、紙巻器の背板の取付穴位置を取付場所にマークします。



取付壁および、ねじの種類に応じて下記の注意事項・施工要領に従って、紙巻器を取り付けます。

壁工法	取付部材	施工上の注意	施工要領
乾式壁	木ねじ	板厚は5.5mm以上確保してください。板厚が足りない場合は、壁裏への取付木(補強木)を設けて板厚が5.5mm以上となるようにしてください。	木ねじで紙巻器を取り付けます。
	木ねじとプラスチックプラグ(別売)併用	厚みが9.5mm以上12.5mm以下の石こうボード等のボード張りにはプラスチックプラグを用いて直接ボードに取り付けできます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下穴をあけます。下穴径は 5mmです。 2. プラスチックプラグの頭部をカナヅチで軽くたたき、壁面から出ないように取り付けます。 3. 木ねじで紙巻器を取り付けます。 プラスチックプラグは同梱されておりません。必要な場合は別途当社品番75-370のプラスチックプラグを手配してください。

ボード張りの厚みが12.5mmを超える場合は、超えた分だけ長い木ねじを別途用意してください。

壁工法	取付部材	施工上の注意	施工要領						
湿式壁	AYボルト(別売)または木ねじとプラスチックプラグ併用	壁仕上材(モルタル、モルタル+タイル)の厚みに合ったAYボルトを別途用意してください。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>品番</th> <th>壁仕上材厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AY-21</td> <td>20mm以下</td> </tr> <tr> <td>AY-22</td> <td>30mm以下</td> </tr> </tbody> </table> 壁仕上厚が30mmを超える場合は、超えた分だけ長い市販のAYボルトを別途用意ください。	品番	壁仕上材厚	AY-21	20mm以下	AY-22	30mm以下	[AYボルトを使用する場合] <ol style="list-style-type: none"> 1. コンクリートドリルを使用して下穴をあけます。下穴寸法は右表の通りです。 2. プラグをボルトに取り付けたまま下穴に差し込みます。 3. ゴム輪の端を壁面から出ないように押さえて小ねじの頭部を強く引っ張ってから小ねじを外します。 4. 紙巻器を小ねじで取り付けます。 [木ねじとプラスチックプラグを併用する場合] <ul style="list-style-type: none"> ・上記ボード張りの施工要領を参照してください。 但し、下穴寸法は 6×35mmにしてください。
品番	壁仕上材厚								
AY-21	20mm以下								
AY-22	30mm以下								

ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。

木ずり下地、ラスボード下地への取り付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に厚さ5.5mm以上の取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。